

## 枚方市ため池を活用した 太陽光発電オフサイトコーポレートPPA契約を締結

官民連携で再生可能エネルギーをひらかたパーク、KUZUHA MALL で地産地消  
ひらかたパークのすべてのアトラクションがカーボンニュートラルに

京阪ホールディングス株式会社(本社：大阪府中央区、社長：石丸昌宏、以下「当社」)は、株式会社環境資源開発コンサルタント(本社：大阪府城東区、社長：金城義栄、以下「ERC」)および関西電力株式会社(本社：大阪府北区、ソリューション本部長：藤野研一、以下「関西電力」)と、コーポレートPPA契約<sup>※1</sup>を本日締結いたしました。

本事業は、枚方市内で発電した再生可能エネルギー由来の電力を枚方市内の施設で活用する地産地消の取組みで、ERCが太陽光発電設備を開発・運営し、関西電力が小売事業者として、当社グループ施設へ再エネ電力を2024年度内に供給開始します。

具体的には、ERCが枚方市内の2ヵ所のため池に合計約4,000kWのフロート型太陽光発電設備を設置し、京阪グループが運営するひらかたパーク(京阪電気鉄道株式会社、本社：大阪府枚方市、社長：平川良浩)およびKUZUHA MALL(株式会社京阪流通システムズ、本社：大阪府中央区、社長：松下靖)に対して、関西電力が再エネ由来の電力と環境価値を提供します。

本件により年間約2,700トン<sup>※2</sup>のCO<sub>2</sub>排出量を削減できる見込みです。ひらかたパークは、施設全体の年間消費電力量の約60%を再生可能エネルギーでまかなうこととなり、すべてのアトラクション全40機種を再生可能エネルギーで稼働します(年間消費電力量換算)。また、KUZUHA MALLは、年間消費電力量の約13%が再生可能エネルギーになります。

本事業は、当社、ERC、関西電力、枚方市、および枚方市招提土地改良区の5者で締結した「ため池を活用した再生可能エネルギーの地産地消の取組みに関する協定」に基づく官民連携の取組みであり、経済産業省資源エネルギー庁「令和5年度補正予算 需要家主導型太陽光発電導入支援事業」に採択されています。

京阪グループは、「BIOSTYLE(=京阪版SDGs)」を経営の軸に据え、今後も事業活動において長期経営戦略に掲げる主軸戦略「地球環境保全」の取組みを推進し、脱炭素社会の実現に貢献してまいります。

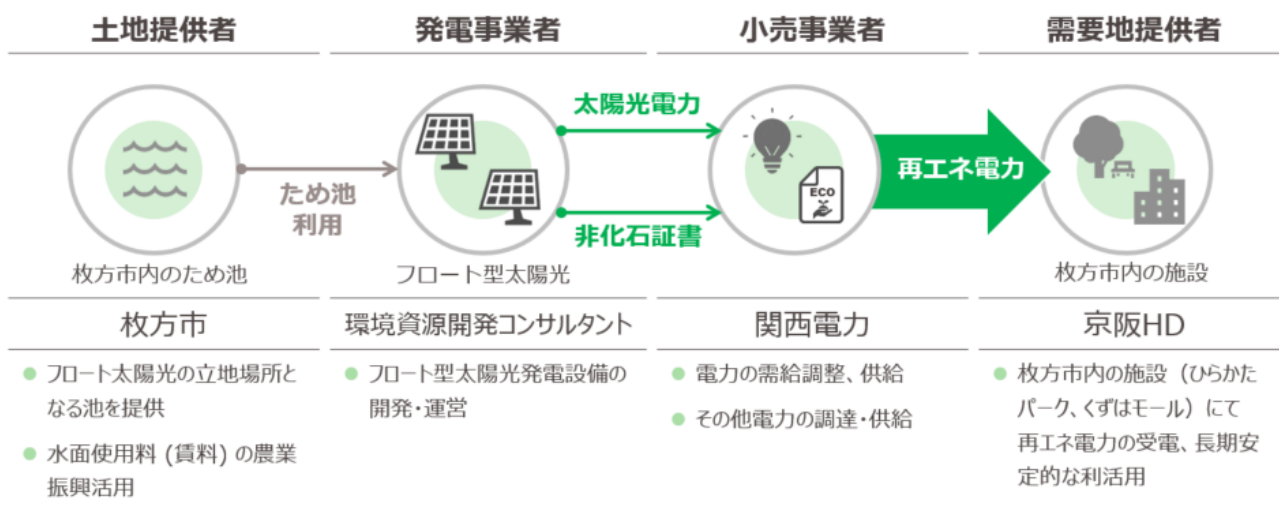
詳細は別紙のとおりです。

※1 「Power Purchase Agreement」(電力供給契約)の略。需要家と発電事業者が小売電気事業者を介して長期・固定価格での電力購入契約を結び、電力供給・調達方法

※2 環境省「電気事業者別排出係数(令和4年度実績)」より算出

## 1. 事業概要

発電事業者	株式会社環境資源開発コンサルタント
小売事業者	関西電力株式会社
需要地提供者	京阪ホールディングス株式会社
発電出力	約4,000kW
供給開始時期	2024年度(予定)

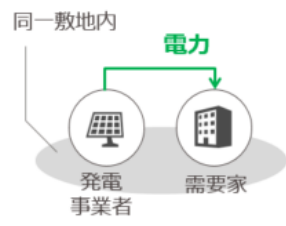
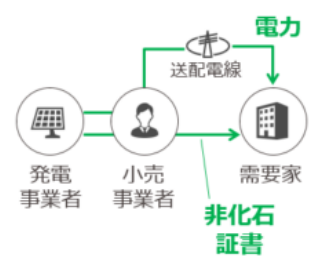



## 2. コーポレートPPAの種類

本事業では、フィジカルPPAで電力を調達しています。

<参考>

- コーポレートPPAとは、需要家と発電事業者が、新たに開発された再生可能エネルギー電力の購入契約を結ぶ電力供給・調達方法。
- 再エネ電源を需要家の敷地内に設置するオンサイト型と、離れた場所に設置するオフサイト型がある。
- オフサイト型は、①小売事業者を介して再エネ電力と非化石証書の双方を取引するフィジカルPPA、②非化石証書のみを取引するバーチャルPPAがある。

	オンサイト型	オフサイト型	
		①フィジカルPPA	②バーチャルPPA
スキーム	 <p>同一敷地内 電力 発電事業者 需要家</p>	 <p>電力 送配電線 発電事業者 小売事業者 需要家 非化石証書</p>	 <p>非化石証書 発電事業者 需要家</p>
概要	同一敷地内で、再エネ電力を消費。	離れた場所から、小売事業者を介して、電力と非化石証書の双方を取引。	離れた場所から、小売事業者を介さず、非化石証書のみを取引。

### 3. 「ため池を活用した再生可能エネルギーの地産地消の取り組みに関する協定」締結の様子



▲左から金城義栄 株式会社環境資源開発コンサルタント代表取締役、石丸昌宏 京阪ホールディングス株式会社代表取締役社長、伏見隆 枚方市長、柿木凱夫 枚方市招提土地改良区理事長、榎山実果 関西電力株式会社執行役常務ソリューション本部長代理

#### SDGsを実現するライフスタイルを提案する

#### 京阪グループの「BIOSTYLE PROJECT」について

健康的で美しく、クオリティの高い生活を実現しながら、SDGsの達成にも貢献していく。京阪グループでは、そんな循環型社会に寄与するライフスタイルを「BIOSTYLE(ビオスタイル)」として展開し、お客さまにご提案しています。

規制や我慢だけから生まれる活動ではなく、“人にも地球にもいいものごとを、毎日の生活の中に、楽しく、無理なく、取り入れていくことができる明るい循環型社会の実現”に貢献するため、京阪グループにできうる様々な活動を推進していきます。

▶ 「BIOSTYLE PROJECT」について詳しくはこちら <https://www.keihan-holdings.co.jp/business/biostyle/>

KEIHAN  
BIOSTYLE  
PROJECT

京阪グループのSDGs ビオスタイルプロジェクト

以上